

小金沢山（雨沢の頭）

【概要】

大菩薩の山域の中で、石丸峠と湯ノ沢峠の間を一般に小金沢連嶺と呼び、小金沢山は文字通りこの連嶺の最高峰です。

小金沢山の一帯は、メインルートである大菩薩峠と雷岩の間のように開けておらず、ほとんどが深い樹林帯ですが、山頂からの展望は良好で特に富士山は一見の価値があると思われます。

【ご注意】

当館から小金沢山までの登山道ははっきりしています。しかし、大菩薩峠周辺と違い、指導標識も少なく、獣道などの踏跡が交錯していて間違いやすい箇所もあるので充分ご注意ください。

尚、富士山の展望や写真撮影を楽しまれる場合、山頂にはどんなに遅くても午前10時までには到着されることをお奨めします。それ以降ですと、富士山にガスがかかりやすくなります。

【ゆったりモデルコース（当館起点 1泊2日）】

第1日目

例1 大菩薩峠と大菩薩嶺間をトレッキングして当館泊

例2 丸川峠分岐－丸川峠－大菩薩嶺－大菩薩峠を縦走して当館泊

第2日目

小金沢山往復 コースタイム5時間15分

当館(0:30)小屋平(1:10)石丸峠(1:20)小金沢山(1:00)石丸峠(0:45)小屋平(0:30)当館

- ：当館前より指導標識に従って「石丸峠」への登山道に入ります。
- ：途中の大きな沢(姫ノ井沢)を渡る際は、スリップなどに充分ご注意ください。増水時は要注意。
- ：親水公園を右に見ながら少し登ると県道に出合います。ここが小屋平です。指導標識に従って県道を横断します。通行車両に充分ご注意ください。
- ：途中林道に出合います。右手に進み指導標識を確認して尾根に取り付きます。
- ：樹林帯を抜けるとまもなく石丸峠。気持ちの良い笹原です。
- ：主尾根を南に向かい、牛ノ寝通り分岐を経て少しの登りで天狗棚山を乗越します。
- ：下りきった広い笹原が狼平です。風が強い時は注意して下さい。
- ：樹林帯に入る付近は笹が成長していますが、踏跡ははっきりしているので問題ありません。
- ：登山道は、主尾根上か主尾根の西側(右側)にあります。常に標識や赤布・テープなどの目印を確認し、絶対に登山道はずれないで下さい。
- ：ルート上には、張り出した木の根や露岩なども多いので充分ご注意ください。
- ：傾斜がゆるくなり立ち枯れた樹木が見えてくると小金沢山の山頂です。
- ：当館へは同じルートを使って戻ります。

(参考)

往路は同じ、復路を石丸峠から主尾根を使って大菩薩峠経由で戻ることも出来ます。

当館(0:30)小屋平(1:10)石丸峠(1:20)小金沢山(1:00)石丸峠(0:30)大菩薩峠(0:40)唐松尾根分岐(0:20)当館 コースタイム5時間30分